

平成26年9月30日

26年度相談役・役員21名各位

ⓧ 委員

逆瀬台小学校区まちづくり協議会
「ゆずり葉コミュニティ」
会長 中村 一雄
TEL 72-5644

逆瀬台小学校区まちづくり協議会「ゆずり葉コミュニティ」
10月度役員会開催のお知らせ（ご案内）

ご多忙のところ、万障繰合わせの上ご出席の程、よろしく申し上げます。

日 時：平成26年10月5日（日） 10：00～12：00

場 所：逆瀬台小学校内 「ゆずり葉コミュニティルーム」

＜ 議 題 ＞

研 修 会

- 10/5(日) 10:00～11:20 逆小校区「福祉ネットワーク会議」の開催
テーマ：①たからづか地域見守り隊（事業者見守り）について（社協）
②認知症について（包括）

報 告

- (1) 10/18(土)ゆずり葉まつり最終確認について (会長)
(2) 7/20(日) 定時役員会議事録について (鬼頭書記)
資料 1～2頁
(3) 9/3(水)「まちづくり協議会代表者交流会」議事録について (黄地役員)
資料 3～4頁
(4) ガーデンフィールズ、跡地活用・文化施設について (黄地役員)
資料 5～6頁
(5) 1/1付発行の「ゆずり葉だより」秋第78号について (事務局長)
原稿締切り⇒11/21(金) 引き取り⇒12/21(日)

その他事項について

- (1) 10/11(土) 平成26年度宝塚市第2地区セーフティネット会議 (会長)
～高齢者福祉問題研修会～の開催について
テーマ：①介護保険制度の改正について（包括）
②地域内の見守りに関して（社協）

以 上

平成 26 年 7 月 20 日
逆瀬台小学校区まちづくり協議会
「ゆずり葉コミュニティ」
書記 鬼頭 勝

「平成 26 年 7 月度役員会」議事録

日時 平成 25 年 7 月 20 日（日） 10:00～12:00
場所 ゆずり葉コミュニティルーム
出席者 議決権者 中村、千秋、石谷、由利、河野（委任状）、出口、古泉、黄地、
中林、三島、村瀬、重富、安木、春木、遠藤、比良、広瀬、
多田、鬼頭
非議決権者 井篁、中山、石田、西沢
ゆずりは会 上杉、富田、原

< 議題 >

先ず、中村会長から、取り急ぎ役員会を開催し報告したいことが有り、8/3 開催予定を繰り上げて本日 7/20 に開催した事と、8 月の役員会は開催しない旨の説明があった。

続いて、報告事項に入る前に、逆瀬台小学校ゆずりは会の上杉会長、原ゆずり葉まつり部長から、当日配布の資料（①運動会のご案内②ゆずり葉まつり開催のお知らせ③第 1 回コミュニティ連絡会議のお知らせ）に基づき、9/27 開催の運動会、10/18 開催の「ゆずり葉まつり」への協力要請があり、9/9 開催の第 1 回コミュニティ連絡会議で、詳細な内容と依頼、確認事項等の打ち合わせをしたいので参加してほしい旨の説明があり、各自治会も了承したので、1 号議案「ゆずり葉まつり」への協力については承認された。

報 告

- (1) コミュニティ協賛金について
西沢会計委員から、本年度の協賛金はエデンの園を除き、すべて入金済である旨の報告がなされた。
- (2) 6/1（日）定時役員会議事録について
中村会長から、資料 1～2/4 頁は既にご覧頂いていると思うので、説明は省略したい旨提案があり、全員了承した。
- (3) 6/2（月）「まちづくり協議会代表者交流会」議事録について
議事録の説明は省略。全員了承。黄地役員から、今期は上記交流会の座長の交代期に当たり、協議の結果、第二地区が引き受ける事となった。座長は第一小校区、副座長は末広小校区と西山小校区が担当するとの報告があった。

(4) 7/4 行政・ファミリーマートとの懇談会

千秋活動局長から、開店後 7 ヶ月、状況把握の意味もあり、こちら側から働きかけて実現したもの。当店は新方式導入のため、全国的に注目され見学者が多い由。売り上げは対予算 90%超のレベル。営業時間延長の申し出があったが、時期尚早であり、聞き置くのみとしたが、全般的に良い雰囲気であった旨の報告があった。

(5) 宝塚市自治会連合会「行政事務委託料」について

中村会長から、別紙資料集（平成 26 年 6 月 25 日自治会連合会編）に基づき、詳細な現状報告がなされ、各役員からその内容に対しての補足説明や意見、質疑応答が活発になされた。

確認事項：今年度の行政事務委託料は行政から直接、補助金として支給される。

要望事項：議員との懇談会へ是非参加してほしい。11/9 14:00～西公民館

(6) 「ゆずり葉だより」秋 77 号について

石谷事務局長から、同号の原稿締め切りを 8/23（土）とし、引き取りは 9/21（日）とする旨の報告があった。

議 案

(2) 10/5（日）逆小校区「福祉ネットワーク会議」の開催について

中村会長から、昨年同様、上記会議を 10 月度役員会の前に開催したい旨の提案があり、全員了承した。

テーマ： ① 宝塚地域見守り隊（事業者見守り）について（社協）
② 認知症について（包括）

(3) 10/11（土）宝塚市第二地区自治会連合会～高齢者福祉問題研修会～

「平成 27 年度セーフティネット連絡会議」の開催について

中村会長から、上記会議（自治会、民児協、まち協、社協、包括の合同会議）を 13:30 から西公民館で開催するので、参加願いたいとの申し出があり、全員了承した。詳細は後日連絡するとの事。

テーマ： 介護保険制度の改正について（包括）
地域内の見守りに関して（社協）

以上

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会(平成26年度・第3回) 報告

日 時 平成26年9月3日(水) 14:00~16:00
場 所 宝塚市上下水道局 3階 第一会議室

出席者 下記以外のまちづくり協議会(19)
市民協働推進課 上田室長、吉岡係長 後藤

欠席者 仁川まちづくり協議会

議事概要(要旨)

1. 平成26年度の議事について

別添のまちづくり協議会代表者交流会 議題一覧により、西山まち協・久保田座長より議題の説明。

2. 避難所の設定について

別添資料(台風11号及び大雨災害に関する概要書)に基づき、危機管理室・小川室長、総合防災課・江崎課長より説明のうえ、まち協代表者の皆さんと意見交換

Q. 8月の3回の大雨の「時間降雨量」が3回とも76.5mmとなっているが、これは偶然か?

A. 市内16ヶ所の最大値を確認したところ、3回とも偶然にも76.5mmであった。それ以上計測出来ないとか故障していたわけではない。

Q. 資料にはないが、7/30の台風の際、清荒神5丁目に避難勧告が出ていたと聞いているが、その概要は?

A. 台風11号接近の際、清荒神参道から高台にかけての住宅地の崖が一部崩落し、土砂が迫ってきたため、近隣住民の方に自主避難を呼びかけた。8/16の大雨の際にも同じく自主避難されている。

Q. 資料中に、(市役所の体制で)第1号配備とか第2号とあるが、その違いは?

A. 第1号配備は管理職以上、第2号は係長級以上、第3号は全職員が出動する配備のこと。想定される災害の規模に応じて参集させている。

Q. 以前に各自治会を対象に防災ラジオを各一台ずつ配布されたが、今回のようにどしゃぶりの酷い状況の中、特定の人に情報が伝わっても、足を使って数百世帯の人たちに伝達することは困難。三田市のように音声による伝達などを検討できないか。

また、大雨の際、夜中に崖崩れのあった地域があり、消防と相談のうえ、自治会館を避難所として数世帯が自主避難されたが、夜中のため、会館鍵所有者の自治会長等と連絡がとれないこともありえたので、避難所になる自治会館の鍵は自治会長以外に複数の人間が所有しておくことが望ましいとわかった。また災害の際は、全自治会単位で動くのは困難。普段の防災訓練の時からそれぞれの班単位などで臨機応変に対応できるよう訓練しておくことも必要であるとわかった。

Q. 今回の雨で避難する際に、これまで避難所として案内されていた指定避難所が急遽閉鎖されたため、該当地区の方が行き場を失ってしまった。避難直前になって閉鎖することがないように、あらゆる事態を想定して避難所を設定してほしい。児童たちには水害の際、上階に避難するよう指導しているのに、何故住民は避難させないのか?隣の地区の避難先である小学校までは、悪天候の中とても移動できない。

Q. 当地区は土地が低く平屋の家が多いため、8/24の雨の際に避難所である小学校に避難された方があると聞いた。避難先の小学校は数十センチ冠水したと聞いたが、避難所として開設された。閉鎖される避難所とはどういうことか?

水害の際は、とりあえず高い所へ移動するようお伝えしているが、避難する際も暗くて怖く、自分では判断が出来ないという住民の声もあった。

A. 台風11号は超巨大型の台風であり、宝塚を直撃した際は甚大な被害が予想されたため、その準備を行っていた。前日より市内の全小中学校の校長と市職員の一部を招集し、平均4名体制で、市内36ヶ所の全小中学校を避難所として開設し、自主避難を受け入れる体制を整えた。台風で市内の全小学校が開設されるのは初めてのことだった。その後、安心メール・FMたからづか等でお知らせをした。全国で被害が報告される中、早めの避難体制を整えていった。

しかし、その後武庫川の水位が急激に上昇し、武庫川左岸地区(向月町・鶴の荘・弥生町等が浸水の恐れが生じた。その中に避難所である美座小・宝中も有ったため、浸水の危険のある場所に避難誘導することは出来ないと判断し、閉鎖に至った。これが地震の場合であれば閉鎖しなかった。が、逆瀬台小や宝塚高校などの土砂災害の危険がある地域は、場合によっては、避難所開設しないかもしれない。今後大規模な土砂災害があった場合は、山麓の小学校等は避難所として使用できないかもしれないし、ケースに応じて今回のように避難所が変わることもあり得る。市民の皆さんと同じくネット情報などで判断、予測しながら開けるべき避難所等を判断している。

Q. 安心メールは届くようにしているが、その他に避難準備情報を入手できる方法は有るか? 配布された防災ラジオでは受信できないエリアもある。また、土嚢は何時お願ひすれば貰えるのか? それとも自分たちで用意するのか? また災害の際、避難所である小学校に全員が集まることは困難であるので、最終避難場所として小学校を設定し、その前にまず一時避難する場所については住民同士で話し合っけて決めておけば、認められるのか?

Q. 地域によって、坂が多く土砂災害の危険があり、避難所まで行けない所もあるため、各地区の住民と行政が避難所の設定や運営について協議していく場を設定し、ともに考えていくことは出来ないか? また、住民と行政との話し合いで、危険な場所は避難所から除外してもらうことも出来るのか? 現在設定されている場所はあまりにも高台で、避難所として不適切であると考えている。

A. 現行の指定避難所は、地域防災会議で決定されたものであるもので、住民と相談して変更することというものではない。但し、災害時の第一避難所を住民の方が地域特性等を考慮しながら、住民の皆さんの立場で設定される場所については問題ない。

Q. 「避難所」という肩書にこだわらず、住民相互で備蓄品を用意する等検討を始めている。救援物資は行政の指定する避難所に取りに行くが、一時避難場所は別に設定しても良い。また、住民側で近隣のゴルフクラブ等に災害時の依頼(避難場所・入浴設備・飲料水等)もしている。

座長 本日は行政より災害についての避難等についての情報提供を受けたが、時間の都合で議論が途中で終了しますので、今後もこの代表者交流会で、協議を続けていきたい。

3. 各まちづくり協議会からの報告

それぞれの地域での直近のイベントや、皆様にお知らせしたい事などを、ひとつずつお話し頂きました。

4. 行政連絡ほか

① ハーフマラソンの協力依頼 (スポーツ振興課)

別添資料に基づき、第10回ハーフマラソンについての協力依頼。大会(12/23)前の10月上旬頃、ボランティアに関しての依頼がある予定。

② 社会教育委員の会議研究報告書の配布について (社会教育課)

市社会教育委員の研究報告書の配布(別添)がありました。

③ まちづくり協議会経理担当者会の報告について (市民協働推進課)

7/22に開催しました「まち協・経理担当者研修会」の議事概要(別添)の報告。次年度から防災訓練用のアルファ化米購入等について補助金対象となるよう見直しを検討しております。また、まち協拠点の整備・備品修繕等に関する費用等については、今後も代表者交流会で検討継続していく予定です。

④ まちづくり協議会アンケートのお願い

協働の指針に基づき設置された「協働のまちづくり促進委員会」が、資料目的のため行うもので、「まち協の意思決定がどのように行われているか」を調査するためのものです。今回配布したものは(案)ですので、後日改めて正式なアンケートを配布される予定です。

※次回の日程

日 時	11月5日(水) 14時~16時
場 所	宝塚上下水道局 3階 第一会議室
主なテーマ	未 定(座長・副座長で協議)